

救急でこそ生きる漢方薬

漢方薬は速効性に効くことが多いのですが、それは体験しないと容易に理解できないかも知れません。

誰もが納得、感心するのは、芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)です。

足がつった(こむらがえり)ときに1包飲みます。

すると5分で治ります。これはビックリです。

世界中でこむらがえりに効く薬はこれしかないのですから。

もしこれを誤って飲んだらどうなるのでしょうか？

何も起きません。

足がつった状態でない人が芍薬甘草湯を飲んで

筋肉が緩んで動けなくなったりしません。

生体側には余計な反応が起きないのです。それが漢方薬の良いところです。

こういう素晴らしい漢方薬を是非試していただきたいと思います。



慢性疾患を相手に使う漢方薬があります。

例えば加齢に伴う下肢の冷え、しびれ、夜間頻尿、腰痛に使う八味地黄丸(はちみじおうがん)や牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)は数ヶ月以上飲んで効果が出てきます。

しかし、大半の漢方薬は「飲んですぐ効く」ので現代まで生き残ってきました。特に感染症に用いる漢方薬は、飲んですぐ効果が出なければ、生命の危険にさらされることになります。

吸入、点滴、入院施設もない時代の治療ですから、速効性でない漢方薬は使われずに淘汰されてきました。

こむらがえり	(68)芍薬甘草湯 (しゃくやくかんぞうとう)	1回1包(原則頓服で内服する) 効きが悪いとき、1回に2包まで可 (予防的に寝る前に1包内服も可)	
肩こり、頭痛	東洋(027)桂枝加葛根湯 (けいしかかこんとう)	1回2包	
冷えて頭痛 片頭痛	(31)呉茱萸湯 (ごしゅゆとう)	1回2包	
蒸し暑くて頭痛 熱中症で頭痛	(17)五苓散 (ごれいさん)	1回1-2包	
月経時の頭痛	(124)川芎茶調散 (せんきゅうちやちょうさん)	1回2包	

お子さんで 頻回に腹痛、 緊張しやすい、 くすぐったがり	(99)小建中湯 (しょうけんちゅうとう)	1回1-2包	
神経性胃炎	(5)安中散 (あんちゅうさん)	1回1包 (胃薬の併用可)	
鼻出血	(113)三黄瀉心湯 (さんおうしゃしんとう)	1回1包	

最近の外来状況

- 夏カゼ(発熱、咽頭痛、頭痛)が小流行中です。発熱は3日間でおさまることが多く、胃腸症状(腹痛、下痢)がメインのものもあります。
- コロナ自粛で相変わらず、頭痛、腹痛、めまい、立ちくらみなどの不定愁訴を訴える方がおられます。
- お子さんの低身長相談・検査希望が多くあります。
- 夜尿症の相談(特に男子)が目立ちます。
- 漢方外来(火・木のPM)は、冷房による冷え、頭痛、月経トラブル(月経不順、月経前症候群など)、慢性副鼻腔炎、肩関節周囲炎、下肢のしびれ等、相談内容は多岐に渡ります。



お知らせ

岐阜市の漢方外来日

9月5日(土)、26日(土)

時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日

9月11日(金)

19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ

9月30日(水)

都合により休診します。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

オンライン診療

現在準備を進めています。